



日本甲虫学会 Coleopterological Society of Japan

HP : <http://kochugakkai.sakura.ne.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/coleopterology>

Twitter : ハッシュタグ #甲虫学会

<https://twitter.com/hashtag/%E7%94%B2%E8%99%AB%E5%AD%A6%E4%BC%9A>

<会長より季節のご挨拶>

INPA訪問

日本甲虫学会 会長 野村周平

2月13~23日の間、ブラジル、マナウスにあるINPA（国立アマゾン研究所）（**写真上左**）を訪問し、昆虫資料をチェックしてきました。読者諸兄には、採集許可、持ち出し許可がどうか、という点が大変気になるのではないかと推察します。我々のように公式ルートからの訪問であると、カウンターパート（受け入れ先）であるINPAの専門家を通して、INPAのフィールドステーションでの採集活動は可能です。私のカウンターパートはクロツヤムシの研究者である、Dr. Claudio Ruy Vasconcelos da Fonsecaでした。実際私と、随行した中瀬悠太氏は、マナウスの近郊2か所で採集活動を行うことができました。

しかしブラジルからの昆虫標本の持ち出しは、厳しく制限されており、我々でも許可なく持ち出しすることはできません。出国の際には採集品1頭1頭について、何が何頭ということすべてを申告し、あくまでも貸し出しであって必ず返す、という前提でなければ持ち出しができませんでした。これらは国の方針なので、INPAの研究者でもどうにもできないようです。

さて私たちの滞在期間には、INPAを何度も訪れ、収蔵庫（**写真上右**）に保存されている未整理標本から、アリヅカムシの標本をピックアップしました。最終的に500頭以上の標本を借り出しました。それらはすべてアマゾン流域の灯火採集で集められたごみのような採集物の中からソーティングしたものです。ソーティングの合間にINPA収蔵庫内の昆虫標本を見学しました。さすがに地元だけあって、引き出し式の標本箱の中に、タイタンオオウスバカミキリ（**写真下左**）やアクテオンゾウカブトムシの標本が多数並んでいました。クワガタムシの箱（**写真下右**）も、アジアのものとは全く違うメンバーに占められていました。



写真：上左：INPAの建物(収蔵庫棟)；上右：収蔵庫内の様子；下左：タイタンオオウスバカミキリの箱；下右：クワガタムシの箱。

ELYTRA (New Series) 6巻1号が発行されました

発行期日は5月25日です。目次PDFは下記のリンクから見ることができます。

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/publication/elytra/ELYTRA06-01.pdf>

会費の納入のご案内

今年度未納の方はよろしくお願ひします。詳しくはこちらへ。

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/admission/admission.html>

日本甲虫学会 ニュースレター 第5号

2016年6月28日発行 ※本ニュースレターは主にHPの更新履歴に基づき、プレーンテキストにてご希望の方に不定期でメール配信します。お申込は下記サイトからどうぞ。過去の更新履歴も、PDFでご覧いただけます。配信停止ご希望の方はご連絡ください

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/newsletter/newsletter.html>

(web担当：初宿 shiyake@mus-nh.city.osaka.jp)